

2024.12.18 NEW

埼玉・埼玉栄高が2年連続でトップ、女子は東京・安部学院高が1位を奪還…2024年全日本選手権/高校別エントリー選手数



▲レスリング界で一大勢力となっている埼玉・埼玉栄高。世界制覇を目指すOBの青柳善の輔（現クリナップ）=2024年全日本選抜選手権、撮影=矢吹遼夫

2024年天皇杯全日本選手権のエントリーが認められた406選手を高校別（出身および在籍）に集計してみると、埼玉・埼玉栄が「23選手」（男子17選手・女子6選手）で、昨年（26選手）に続いて全体でも男子だけでもトップに立った。

同高は2018年=6位（9選手）、2019年=5位（13選手）、2020年=9位（5選手）、2021年=5位（10選手）と、コロナ禍の最中にも上位に顔を出していたが、トップとは差があった。2022年に「17選手」で4位となり、昨年（26選手）、今年と急激に選手数を増やした。

昨年2位だった同県の花咲徳栄は「12選手」（男子のみ）で9位に後退。男子では佐賀・鳥栖工や千葉・日体大柏が昨年に続いて上位を維持した。

女子では東京・安部学院高が「18選手」で、2021年から3年間、愛知・至学館高に渡っていたトップの座を奪還。全体の2位につけた。至学館高は「14選手」で女子の2位。3位は埼玉栄の「6選手」と差があり、2強時代が続いている。

出身・在籍高校別エントリー数の上位校は下記の通り。

2024年全日本選手権/高校別（出身・在籍）エントリー選手数上位校

No.	高校名	合計	男子	女子
1	埼玉・埼玉栄高	23	17	6
2	東京・安部学院高	18		18

Follow us



JWF WREST

日本レスリング協会



2024年国際レスリング
ジュニアのためのレ

年別ニュース

選択してください

サイト内検索

2022年機関誌（ebo
2019・20・21年主
2016年～2023年世
2024年国際大会の代
《レスリング入門》
の要点